

令和6年3月7日

足立区立第十三中学校  
校長 菊間 路人 様

足立区立第十三中学校 開かれた学校づくり協議会  
会長 西岡 丈夫

## 令和5年度 学校関係者評価書

### 1 自己評価書（学校経営計画・自己評価書）全般について

今年度の取組事項に対し、達成度や課題がわかりやすくまとめられていました。教員の授業力向上に期待する部分がありますが、生徒が前向きに意欲をもって学校生活に取り組んでいる様子が感じられました。

全体的に生徒が落ち着いて学校生活を過ごしており、A Iドリルを利用して学力向上に努めていることや、不登校生徒をなくす努力を継続している点では、一人一人の生徒を大切にした教育がなされていると感じられます。

SNSのトラブル等、学校だけでは対処できない課題については、家庭や関係諸機関と連携した対策をお願いします。

学力向上に向けての努力、学校のルールを守り互いに思いやりをもって生活できるよう働きかけていくこと、地域とも連携しながら、生徒に様々な体験の場を提供してきた点などは高く評価できます。

### 2 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

新型コロナウイルスの影響がまだ残っていたこともあり、地域人材を十分に活用できなかったことが残念に思います。以前のように、3年生の面接練習など、協議会委員や地域の協力者が参加する体制があるので、学校と家庭、地域が協力して教育活動に取り組み、生徒の育成を推進してもらいたい。

子供とどう向き合っていけばよいか分からないという家庭があると聞いております。家庭への働きかけとともにSCやSSWなどの協力も得ながら、保護者も学ぶ機会を増やすことができればよいと思います。

### 3 その他

学校評価アンケートから、多くの生徒が学校生活を満足して過ごしている姿が想像でき安心しました。中には、なかなか夢や希望を見いだせない生徒もいるでしょうが、あきらめず、一人一人のもっている良いものを引き出せると良いと思います。